



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集

美心会だより

観衆を魅了 美心会の演武

11月3日(金)勝浦市文化祭芸能発表会が、午前10時から勝浦市芸術文化交流センター(キュステ)を会場として開催された。本会は、開演間もないプログラムNo.2で出演。発表時間は10分と例年より5分短くなったが内容は変わった。

太極拳の演武は、「簡化太極拳24式」。だが、出演者が二つに分かれて演武、衣装はグループで色を変え、照明でもメリハリをつけた。



照明の変化で一層際立った演武

今回は会長が仕事で不参加の中、9月から熱心に練習を積み重ねた成果がでて、すばらしい演武だった。

また、続いて行われた腹式呼吸は、イスに腰掛けたまま腹式呼吸を体感するところから観衆にアピール。丁寧な説明は、会長が仕事の合間をぬい、周囲の雑音ができる限り入らないようにと苦心して録音したテー



プだ。単に説明だけでなく、リラックス効果も考えて、同時にBGMも選曲してあった。

観衆にわかりやすい岡田さんの見本演技と一緒に参加する観衆が次第に増えていった。



観客と一体となって腹式呼吸を披露

出演者が全員で動作をつけて腹式呼吸を表現、健康効果のナレーションが始まる頃には、会場の観衆は全員腹式呼吸に参加していた。開演間もない時間帯であるにもかかわらず、観客の数は多かった。

秋空の下で 太極拳

文化祭が終わってホッとしたのも束の間、11月4日(土)は定期練習の日。ところが、練習会場の空きがない。野口会長は、興津中学校、北中学校、郁文小学校、上野小学校、御宿町のB&G海洋センターと当たったが、どこも空きがない。困り果て、山岸先生に相談。そこで、山岸先生から野外練習の提案があり野外練習場の交渉を引き受けてくれたのが門屋さん。



東急サニーパーク前の芝生で野外練習